No.14
2020
3月1日号

高崎市PTA連合会広報紙
たかさき倶楽部

Parent
Teacher
Association

第57回高崎市ＰＴＡ連合会研究大会……Ｐ１～２
高崎市の学校紹介（頑張っていますＰＴＡ活動！）……Ｐ３～６
会長あいさつ・ＨＰ紹介・本部役員・広報グループ紹介……Ｐ７

時代は令和へ～〇〇から考えるこれからのＰＴＡ

「市Ｐ連」の存在意義とは

研究大会実行委員長
泉　純平（中居小）

今、ＰＴＡは大きな転換期を迎えています。少子化、核家族化、女性の社会進出、働き方改革など、社会構造の変化や価値観の多様化は目まぐるしく、いじめや不登校、貧困や虐待など、子どもを取り巻く課題もより複雑さを増しています。そのような中、今のままのＰＴＡではこれからの時代に合わないのではないか、そんな声をよく耳にするようになりました。

高崎市Ｐ連では、昨年９月、市内全ての保護者、ＰＴＡ会長、学校長を対象にアンケート調査を実施し、そのうち4000件を超える回答を得た保護者向けのアンケートでは、ＰＴＡに対して「時代に合った組織や活動の見直しを望む」が76％に達しています（Ｑ８参照）。

このような状況を背景に、今年度の研究大会は、平成から令和へと時代が変わった今、これからのＰＴＡはどうあるべきかを考えるものとし、さらに、「自己完結型の閉鎖的なＰＴＡ」ではなく、より「社会に開かれたＰＴＡ」を実践するために、地域や立場を問わず誰でも参加できる市民公開型の大会として開催しました。

これにより、現役のPTA役員や会員、教職員はもちろん、OBOGの皆さん、未就学児の親御さん、将来教員を志す地元大学生、日ごろ子どもたちを見守ってくださる地域の区長さん、市外・県外（東京、神奈川、新潟、兵庫等）在住者など、多種多様な約400人の参加者とともにこれからのＰＴＡを考える機会となりました。

ＰＴＡに属する私たちの共通点は、「子どもたちの保護者と先生であること」、ただ一点です。それ以外は、環境も価値観も考え方も全く異なる人たちの集まりです。そんなＰＴＡの連合組織である市Ｐ連の研究大会が今回目指したのは、ＰＴＡの理想と現実の狭間で今まさに悩み、葛藤し、何かを変えたいと踏み出そうとしている人を少しでも支え、その背中を押したいということでした。受け止め方はさまざまだったと思いますが、思い描いた目的が達せられたかどうかの判断は、各ＰＴＡにおけるこれからの活動や取り組みの成果に委ねられます。

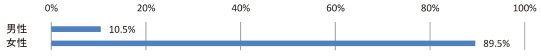
あまねく「Ｐ連」は今その存在意義が問われています。市Ｐ連には市Ｐ連にしかできないことがあります。高崎市Ｐ連にはこれからも、市内全ＰＴＡの伴走者としてその活性化や適正化の支援に努めてほしいと思います。

高崎市におけるＰＴＡの「今」を知り、「これから」をともに考えるためのアンケート調査

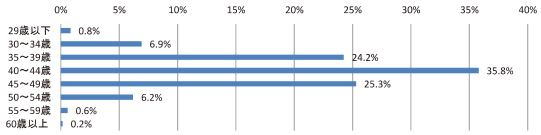
（2019年９月に高崎市内小・中・特別支援学校の全保護者、PTA会長、学校長を対象に実施）

保護者向けアンケート集計結果

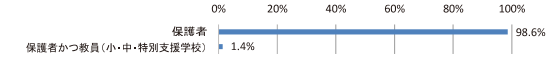
Q1	あなたの性別を教えてください	N	%
1	男性	417	10.5%
2	女性	3572	89.5%
	合計	3989	100%



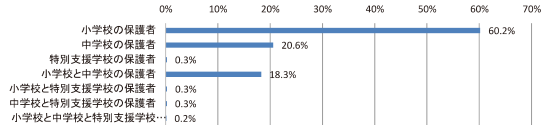
Q2	あなたの年齢を教えてください	N	%
1	29歳以下	33	0.8%
2	30～34歳	276	6.9%
3	35～39歳	967	24.2%
4	40～44歳	1428	35.8%
5	45～49歳	1009	25.3%
6	50～54歳	247	6.2%
7	55～59歳	23	0.6%
8	60歳以上	6	0.2%
	合計	3989	100%



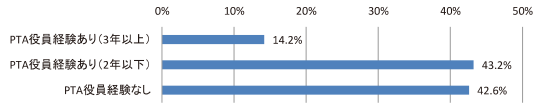
Q3	あなたの立場を教えてください（その1）	N	%
1	保護者	3932	98.6%
2	保護者かつ教員（小学校、中学校又は特別支援学校）	57	1.4%
	合計	3989	100%



Q4	あなたの立場を教えてください（その2） （※以下の小・中・特別支援学校は高崎市立でお考えください）	N	%
1	小学校の保護者	2401	60.2%
2	中学校の保護者	821	20.6%
3	特別支援学校の保護者	10	0.3%
4	小学校と中学校の保護者	730	18.3%
5	小学校と特別支援学校の保護者	11	0.3%
6	中学校と特別支援学校の保護者	10	0.3%
7	小学校と中学校と特別支援学校の保護者	6	0.2%
	合計	3989	100%

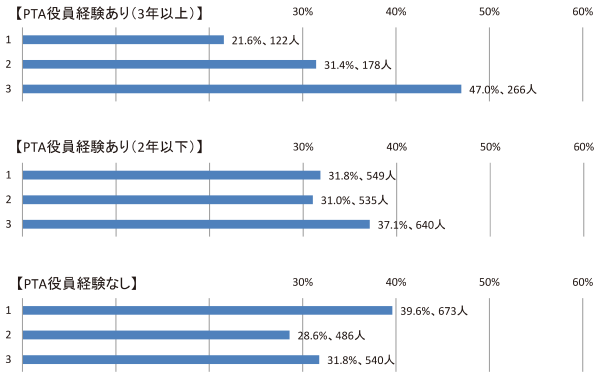


Q5	あなたの立場を教えてください（その3） （※「役員」には「委員」も含めてお考えください）	N	%
1	PTA役員経験あり（3年以上）	566	14.2%
2	PTA役員経験あり（2年以下）	1724	43.2%
3	PTA役員経験なし	1699	42.6%
	合計	3989	100%



Q6	PTA活動に対する意識 （※あなたの考えにもっとも近いものを選んでください）	N	%
1	PTA活動はやりたい人やできる人がやるボランティアである	1344	33.7%
2	PTA活動はその学校に子どもを通わせる保護者の務めである	1199	30.1%
3	PTA活動は親として誰もが関わる子育ての一環である	1446	36.2%
	合計	3989	100%

Q5,Q6 のクロス集計		役員経験 3年以上	役員経験 2年以下	役員経験 なし
1	PTA活動はやりたい人やできる人がやるボランティアである	21.6%	31.8%	39.6%
2	PTA活動はその学校に子どもを通わせる保護者の務めである	31.4%	31.0%	28.6%
3	PTA活動は親として誰もが関わる子育ての一環である	47.0%	37.1%	31.8%
	合計	100%	100%	100%



第57回高崎市PTA連合会研究大会

令和元年12月14日㈯
高崎市文化会館・大ホール

研究大会リポート

平成から令和へ、これからのＰＴＡはどうあるべきか

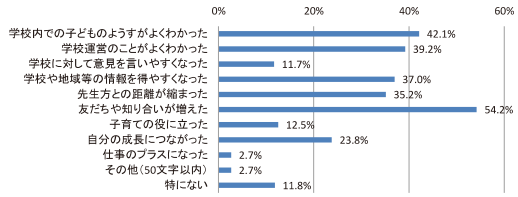
例年各ＰＴＡに参加動員をお願いしていましたが、今年度はそのような割り当ても一切行わず、12月14日（土）に令和初の研究大会を開催いたしました。ＰＴＡ会員はもちろんのこと地域の方も含め誰もが参加できるよう、ＰＴＡ全家庭及び公民館等にも案内を配布しました。また、小さいお子さんがいらっしゃるご家庭にも参加しやすいように託児サービスも設けました。

第１部の講演では、ＰＴＡジャーナリスト・大塚玲子氏をお迎えし、「どう考える？これからのＰＴＡ～どうあるべき？保護者と学校の関係」をテーマに、ご自身の豊富な取材経験をもとに、大変貴重なお話を頂きました。

第２部のパネルディスカッションでは「アンケート調査結果大公開！高崎から考えるこれからのPTA」をテーマに、くじ引きでＰＴＡ会長を引き受けることになった六郷小学校ＰＴＡ会長・二階堂麻美子氏、前橋市で中学校教師を務める中川小学校ＰＴＡ会長・茂野勇氏、前高崎市小学校長会会長・樋口佳子氏、高崎市ＰＴＡ連合会会長・大澤博史氏らがパネリストとして登壇し、コメンテーターは講演に引き続き大塚玲子氏、コーディネーターは大会実行委員長の泉純平氏が務め、さまざまな視点からこれからのＰＴＡのあり方について、忌憚のない意見が交わされました。

保護者向けアンケート集計結果【回収結果4,010件（うち対象者は3,989件）】

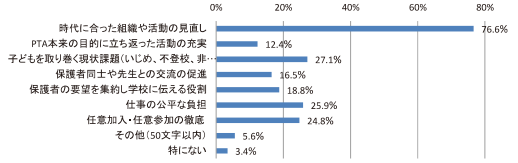
Q7	PTA役員をやってよかったこと（※PTA役員経験者のみ）（複数選択可）	N	%
1	学校内での子どものようすがよくわかった	965	42.1%
2	学校運営のことがよくわかった	898	39.2%
3	学校に対して意見を言いやすくなった	267	11.7%
4	学校や地域等の情報を得やすくなった	847	37.0%
5	先生方との距離が縮まった	805	35.2%
6	友だちや知り合いが増えた	1242	54.2%
7	子育ての役に立った	287	12.5%
8	自分の成長につながった	545	23.8%
9	仕事のプラスになった	61	2.7%
10	その他（50文字以内）	61	2.7%
11	特にない	271	11.8%
	合計（Q5「PTA役員経験あり」の合計数）	2290	



※「その他」の回答は、下記QRコード（URL）のリンク先に具体的な記述を掲載しています。

http://www.takasaki-pta-net.com/ptahandbook/q7-sonota.pdf

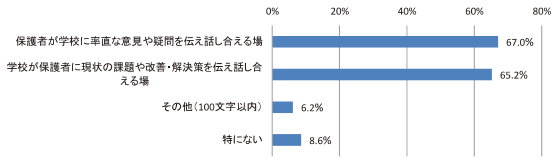
Q8	PTAに望むこと（※今のPTAに対してあなたが望むことを選んでください）（複数選択可）	N	%
1	時代に合った組織や活動の見直し	3057	76.6%
2	PTA本来の目的に立ち返った活動の充実	493	12.4%
3	子どもを取り巻く現状課題（いじめ、不登校、非行、虐待、貧困等）への取り組み	1082	27.1%
4	保護者同士や先生との交流の促進	658	16.5%
5	保護者の要望を集約し学校に伝える役割	748	18.8%
6	仕事の公平な負担	1032	25.9%
7	任意加入・任意参加の徹底	989	24.8%
8	その他（50文字以内）	222	5.6%
9	特にない	135	3.4%
	合計	3989	



※「その他」の回答は、下記QRコード（URL）のリンク先に具体的な記述を掲載しています。

http://www.takasaki-pta-net.com/ptahandbook/q8-sonota.pdf

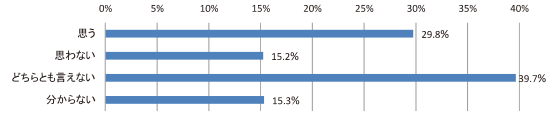
Q9	子どもたちのために保護者と学校（先生）との間に必要なことはどんなことだと思いますか（複数選択可）	N	%
1	保護者が学校に率直な意見や疑問を伝え話し合える場	2674	67.0%
2	学校が保護者に現状の課題や改善・解決策を伝え話し合える場	2602	65.2%
3	その他（100文字以内）	246	6.2%
4	特にない	343	8.6%
	合計	3989	



※「その他」の回答は、下記QRコード（URL）のリンク先に具体的な記述を掲載しています。

http://www.takasaki-pta-net.com/ptahandbook/q9-sonota.pdf

Q10	Q9で回答した必要だと思うことについて、PTAはその役割を担えると思いますか	N	%
1	思う	1085	29.8%
2	思わない	556	15.2%
3	どちらとも言えない	1446	39.7%
4	分からない	559	15.3%
	合計（Q9「合計」と「特にない」の差	3646	100%



Q11 自由記述（※PTAとの関わりにおいて感じていること、悩んでいること、実践していること、これからのPTAのありかた等、PTAに関わることなら何でもかまいませんのでご自由にお書きください）（500文字以内）

※下記QRコード（URL）のリンク先に全記述を掲載しています。

http://www.takasaki-pta-net.com/ptahandbook/q11-jiyukijutsu.pdf

アンケートへのご協力ありがとうございました。

※保護者、PTA会長、学校長向けアンケートの内容はそれぞれ異なります。

頑張っていますＰＴＡ活動！

新町中学校

頑張る新中生を応援したい、陸上大会の良き思い出になって欲しいと願いの込められた新中マドレーヌが、新中ＰＴＡから生徒にプレゼントされました。年に一度の陸上大会の昼食時に配られるもので、今年で３年目となります。新中マドレーヌとは、地元の有名な洋菓子店が作ったマドレーヌに、新町中学校の校章が大きく焼き印されたものです。陸上大会当日の限定一般販売も行っており、開会式後には買い求めるお客様で列ができました。今年は昨年よりも200個増やして600個を用意しました。販売していたＰＴＡ本部役員も持ち前の団結力を発揮し、おもてなしの接客です。

寺尾小学校

寺尾小学校では、ＰＴＡ父親委員会が中心となり、田んぼや畑を使った農業体験を行っています。この活動は、ＰＴＡ会長やＰＴＡ父親委員のＯＢ、地域の方々で組織された「どんぐりの会」のみなさんから、道具や技術面など全面的なバックアップをいただいています。

今年も田んぼでは、５年生が籾まきから稲刈り、籾すりを体験し、２kgの籾から200kgのもち米を収穫することができました。

このもち米は年明けに行う「どんぐりの会」主催の餅つき大会で、子どもたちをはじめ、地域の皆さんにも振舞われます。

畑では２年生がジャガイモとサツマイモを育てました。畝立てや草むしりなどは「どんぐりの会」や父親委員がお手伝いし、収穫作業は保護者や子どもたちが泥だらけになりながら楽しみました。

寺尾小の子どもたちがこのような貴重な体験ができるのは、「どんぐりの会」をはじめとする地域のみなさんのご理解と温かいご支援のおかげです。いつも本当にありがとうございます。

第一中学校

一中では毎年、２年生の東京校外学習の日にあわせてＰＴＡ給食試食会が行われています。

この日のメニューは「麦ご飯、牛乳、豚キムチの具、ブロッコリーのピリ辛サラダ、大根と生姜のスープ、オレンジ」でした。

限られた予算の中で、栄養のバランスを考えて、材料を揃えるのはとても難しいことですが、そんな中でもたくさんの食材が使われていて驚きました。

１回の食事で、多くの野菜が摂れる上に、ボリュームも十分で美味しかったです。

レシピもいただいたので、我が家の献立にも加えたいと思います。

岩平小学校

令和元年２回目の岩平小学校ＰＴＡセミナーは、吉井町多胡にお住まいの萩原陽子先生をお招きし「大型布絵紙芝居」を上演いただきました。

先生は世界記憶遺産「上野三碑（こうずけさんぴ）」を多くの人たちに知ってもらうため、「多胡碑と羊太夫」を市庁舎で上演したり、市内の小中学校、幼稚園等で自作の作品を上演したりするなど大変な活躍をされています。

その語りの素晴らしさに、子どもたちはもちろん、保護者、教職員も魅せられました。上演後は先生の作成した布紙芝居を直接触らせていただき、その温かく優しい感触を味わっていました。心に響く素晴らしい上演会でした。

長野郷中学校

生徒が自分で作る「弁当の日」。 平成23年からPTA主体で始め、年２回給食のない日に実施しています。子どもたちが自分で献立を考え、買い物、調理、弁当箱詰め、そして片付けまで全て子どもが一人でします。親は手出し、口出しをしないというのが原則です。保護者には忍耐力強化の日と考えて頂き、温かい目での理解と協力をお願いしています。作った弁当は、評価はしません。その代わり友だちとの見せ合いっこは大いにしてもらいます。

目指す合言葉は「ぜんぶ！」

「弁当の日」は、子どもの自立を促し、成功体験を得る格好の経験。それを継続することで命や食、そして周囲の人々に感謝でき、自己肯定ができる子どもを育てます。そんな生きる力を育む「弁当の日」をこれからも継続していきたいと思います。

塚沢小学校

塚沢小学校では毎年11月に恒例イベントとして「ふれあい祭り」を開催しています。

体育館ではバザー、校庭では模擬店、スタンプラリー、ステージなどご来場の皆様に楽しい時間を過ごしていただき、収益はテントの購入などに活用しています。

なお、小学校のホームページにて開催日程を掲示しております。

倉賀野中学校

倉賀野中学校では昭和35年から開催されている『音楽の夕べ』が今年で第60回になり盛大に開催されました。倉賀野中が誇る伝統行事となっています。

ＰＴＡの文化教養委員会が主催し、今年は頼政太鼓をお呼びして勇壮な演奏を聞かせてもらうとともに、吹奏楽部のみなさんが地域の方に素晴らしい演奏や楽しい演奏を披露しました。これからも地域の方々と共に、音楽に親しんでいきたいと思います。

下里見小学校

下里見小学校にて11月10日（日）に「親と教師と地域によるＰＴＡセミナー」を開催しました。講師に吉本興業所属の群馬住みます芸人アンカンミンカンさんをお招きして「アンカンミンカンと一緒に学ぼう！みんなの故郷・群馬県！」という題目で講義をしてもらいました。

群馬県にちなんだクイズをだしたり、群馬県にちなんだ漫才など子供も大人もとても楽しんでいました。群馬県の良さを改めて感じることができました。

高松中学校

高松中学校では、本校のスクールカウンセラーである加藤さんを講師にお招きし、いわゆる「反抗期」への対応についてのセミナーを開催しました。

子供によって反抗の現れ方に違いがあること、その違いはそれぞれの子供がもつ気質にも影響していること､「イエス」と子供が答えられるようなやりとりをすることで弾む会話となるように心がけることが重要など、思春期を迎えた子供との関わり方について大変参考になる話をしていただきました。

グループワークでは、子供の「困ったところ」を「良いところ」と思えるような言い方について、参加者同士で意見を交換しました。

子供との接し方を改めて見つめ直すきっかけになりました。

中川小学校

中川小学校では『週５日制行事～うどん打ち～』をＰＴＡ・育成会合同行事として開催しました。

20年以上続く毎年100名以上の児童が参加する人気行事です。いくつかのグループに分かれ、地域のうどん打ち名人達にコツを伝授していただき、秋空の下、大鍋で茹で上げ、みんなで美味しくいただきました。

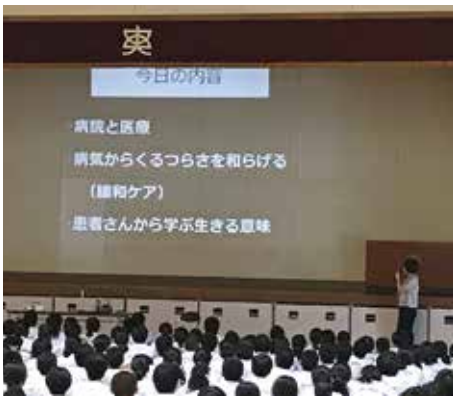
堤ヶ岡小学校

堤ヶ岡小学校ＰＴＡセミナーへお招きしたのは「タケオ・リアル＆タカサキシティバンド」の皆さんで、年間300ものライブを実践しているプロミュージシャン集団です。様々な楽器の音の出し方を披露しながら、子どもたちの興味を引き出す授業のような進行でした。「『音楽』は楽しまなければ意味がない！」とのメッセージから、子どもたちが一丸となって体を使いダンスをしたり、笑いありのクイズコーナーがあったりと飽きさせない演出でした。Youtubeなどでは伝わらない本物ならではの臨場感・一体感、楽しそうに演奏する姿や表情、音の響きと音楽の楽しさ＆素晴らしさを披露いただきました。「楽しかった」という感想が多く聞かれ、子どもたちには貴重な体験となりました。

吉井中央中学校

「大切な命」を今年度のテーマとして、令和元年９月26日（木）14:30より家庭教育セミナーが開催されました。

今年度は、公立富岡総合病院看護副部長・津金澤理恵子様をお招きし、「いのちの授業～医療の現場から～」という演題でご講演いただきました。



緩和ケアの第一線にて命と向き合い、命と寄り添いながらご活躍されてきた、津金澤先生のお話を通して、生きることの意味、命の尊さについて見つめなおす機会をいただきました。

南八幡中学校

南八幡中学校では11月６日（水）に校区内清掃が行われました。この活動は昭和46年から始まり、現在では生徒、ＰＴＡの他、幼稚園、小学校、大学、地域諸団体と多くの方々が参加する恒例行事です。

中でも２年生が行う自然遊歩道清掃では、ゴミ拾いを行いながら途中に点在する万葉歌碑や、世界の記憶に登録された山上碑に関して、高崎商科大学生より解説頂きました。環境美化への取り組みと、地域の歴史を学ぶ良い機会となりました。

南小学校

12月４日に、前橋赤十字病院にてフライトドクターを務めていらっしゃる町田浩志医師をお招きし、「いのち」をテーマに、ＰＴＡセミナーを開催しました。セミナーには、３年生から６年生までの児童と約60名の保護者が参加しました。

児童は、ドクターヘリの移動スピード（時速230㎞）に驚きの声を上げたり、講師からの問いかけに積極的に反応しており、強い関心を示していました。また、町田医師の救命にかける思いに接し、児童も保護者も「いのち」の尊さについて改めて認識することができました。

箕郷東小学校

箕郷東小学校ではＰＴＡ活動の一環としてベルマーク活動を行っております。
各家庭から収集したベルマークを本部役員とベルマーク委員約15名程で４月、８月を除く月一回２時間の仕分け作業を行っております。
今年はベルマーク貯金も貯まり、運動会で使用するテントを購入することができました。ベルマーク活動の目的や仕組みをご理解いただき、子供達の教育環境に少しでもプラスになればと考えております。

北小学校

10月26日（土）に、恒例のＰＴＡ行事「北小バザー・えのき祭り」を開催しました。体育館でのバザー品販売、校庭での児童・保護者・教職員による模擬店、児童によるマーチング演奏、第一中学校吹奏楽部による演奏、「上州タカサキオンド」のダンス講習＆コンテスト、ビンゴ大会など、大人も子どもも楽しめる盛り沢山の内容により、地域の皆さんも含め多くのお客様をお迎えし、賑やかで思い出に残る素晴らしい１日となりました。

下室田小学校

11月22日（金）、明和学園短期大学准教授の永井真紀先生をお招きし、ＰＴＡセミナー「親子で楽しむ運動あそび」を開催しました。昨年度に引き続き、２度目の開催となります。普段の体育の授業とは少し趣向の変わった、頭で考えながら、体を動かす８種類のミニゲームに、我々保護者もつい夢中になってしまいました。笑顔の中にも、真剣な眼差しで運動に取り組む子供たちの姿がとても印象的でした。

佐野中学校

佐野中ＰＴＡの大きな特徴は、朝のあいさつ運動と親子参加奉仕活動・研修旅行です。今年の研修旅行は、湯島天神（合格祈願）と劇団四季の『アラジン』を観劇しました。毎年多くの参加者があり、会員同士の交流を深めることに大変役立っております。準備や運営は大変な面もありますが、ＰＴＡ活動活性化の大きな要因になっていると思います。子どもたちの成長のためには、環境づくりに加えて、感性も磨いていく大切さを感じています。この研修旅行は、今後も発展的に継続していきたいと考えています。

城南小学校

城南小学校が位置する城南地区では、春に芸能祭、秋には鎌倉街道武者行列といった児童も参加しての地域行事があります。これは城南地区特有のものであり、そこから地域の方々とのつながりが生まれ、同時に伝統行事の継承にもなっています。こういった時代であるからこそ、“人”と“人”とのつながりを大事に、そこから生まれる心の豊かさを育んでいきたいものです。

令和時代のＰＴＡとは

高崎市ＰＴＡ連合会
会長　**大澤　博史**

ＰＴＡに関わる皆様におかれましては、忙しい時間をやり繰りしながらのＰＴＡ活動、大変お疲れ様でした。市Ｐ連は、年度当初「子どもたちの未来を照らす　～令和時代のＰＴＡを作ろう～」をスローガンに掲げて、活動してまいりました。

令和時代のＰＴＡとは何か。少なくとも今までと同じではダメだ。そんな漠然とした課題認識からスタートしたのが今年度の研究大会でした。皆様にもアンケートへのご回答をいただき、ありがとうございました。おかげさまで県内外からもご参加いただき、反響の大きい研究大会になりました。

冒頭の挨拶でも触れましたが、ＰＴＡは学校単位の組織が全てです。学校、子どもたち、保護者が直接的に関わり合っていく中で、ＰＴＡの役割が見えてくるはずです。組織運営面ばかりが話題になりがちですが、三者の関係性から見直すことも大事なのではないでしょうか。

私自身、小学校と中学校それぞれのＰＴＡを経験し、先生方や地域の方々との交流を通じて多くのことを学びました。また、多くの保護者の方とも知り合い、子どもたちが卒業した後も友人としてお付き合いしている仲間もいます。もちろん時間のやり繰りは大変でしたが、それを上回る良い経験ができました。

是非、皆様も前向きに、自分自身が成長できる場所と捉えていただき、これからもＰＴＡに関わって欲しいと思います。「令和時代のＰＴＡ」づくりはまだ緒に就いたばかりです。これからはＰＴＡ応援団の一人となり関わってまいります。一年間、お世話になりました。

市Ｐ連ホームページ

各校のＰＴＡセミナーをホームページで紹介

ＰＴＡ活動に役立つ情報が満載

市Ｐ連のホームページ・Facebook（担当：情報委員会HPグループ）では、各学校の様々なＰＴＡ活動の取り組みを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

また、ホームページへの掲載を希望する学校も随時募集しています。問い合わせは、市Ｐ連事務局(jimukyoku@takasaki-pta-net.com)へ。

高崎市PTA連合会ホームページ
http://www.takasaki-pta-net.com/
高崎　PTA　検索

QRコード

高崎市PTA連合会情報委員会Facebook
高崎　PTA　検索

令和元年度　高崎市PTA連合会本部役員

会　長	大澤　博史	(第一中)
副会長	清水あゆみ	(長野郷中)
	清水　幸子	(榛名中)
	御供　直起	(長野郷中)
	山崎　吉郎	(高南中)
	矢嶋　伸也	(高松中)
	泉　純平	(中居小)
常任理事	福田　武盛	(桜山小)
	星野　雅代	(新町第一小)
	瀬間宏一郎	(南八幡中)
	清水　里子	(並榎中)
	筒井　教恵	(榛名中)
	福島　秋美	(入野小)
担当校長	坂井　康良	(城山小)
	田中　宏巳	(倉渕中)
理　事	関　通	(榛名中)
	清水　貴弘	(群馬南中)
	小林　憂也	(馬庭小)
	吉田　哲也	(新町中)
	瀬戸　基寛	(乗附小)
	早野　康江	(豊岡中)
	林　恒徳	(中尾中)
	近藤　利弘	(南小)
監　事	矢野　裕敏	(大類中)
	髙井　貴子	(高南中)
参　与	金田　等	(吉井西中)
顧　問	神宮　嘉一	
	清水　久美	
	手島　茂樹	(東京福祉大学大学院)

編集：情報委員会　広報グループ

●グループ長	御供　直起(長野郷中)	
●副グループ長	城津　時人(岩平小)	辻　拓一郎(南小)
●書　記	只木　一紀(中川小)	安部　徹(城南小)
●編集員		
	髙山　純一(上室田小)	石田　智幸(下里見小)
	鈴木　雅之(下室田小)	上野　眞裕(倉渕中)
	倉持　育久(榛名中)	平田　徹行(堤ヶ岡小)
	横田　明子(箕郷東小)	新井　俊雄(吉井中央中)
	吉田　秀(吉井西中)	篠崎　俊朗(大類小)
	根岸　隆之(新町中)	星野　千春(城山小)
	大石多計夫(寺尾小)	泉　裕次郎(乗附小)
	岡部　洋幸(倉賀野中)	梅山　和也(南八幡中)
	川口　裕介(西部小)	高橋　優(豊岡中)
	須郷　智巳(八幡中)	市川　剛志(城東小)
	林　佳貴(塚沢小)	時澤　敏明(東部小)
	新井　洋平(佐野中)	嶋田　良輔(北小)
	茂木　芳之(中央小)	能登多賀子(第一中)
	福島　康嗣(高松中)	